

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第593号 2019年3月10日

2019年度信徒大会開催

2月17日（日）11時30分ミサ後に信徒大会が聖堂で開催され、開会では全員で典礼聖歌409番「呼ばれています」を歌いました。

今年、新たに教会委員長に就任した太田康子氏から、挨拶および昨年度活動報告ならびに新年度活動方針について説明がありました。新年度活動方針と考え方については、「今年は教皇フランシスコが10月を宣教特別月間と定められた『宣教の特別年』ですので宣教を意識し、より多くの人との関係を深めましょう」とのことでした。具体的には第3地区の「信仰を伝える力を育てる部門」、「祈る力を育てる部門」、「神の愛を証する力を育てる部門」を浸透させ、活発に行動することを挙げました。その後、各教会委員の自己紹介がありました。また、みこころコーナー委員会委員長の末澤二郎氏から、みこころコーナーは「交わりの場を提供する目的で開設した」との話があり、墓地委員会委員長の村田隆裕氏から合葬墓が約1年後に建設されることになったことと、その経緯の説明がありました。トピックスとしては、昨年9月から図書室担当になった竹之内弘美氏から新たに発行された図書室の広報誌『やまて図書』の紹介と今後の抱負が述べられました。

会計報告と予算については財務担当の佐藤康夫氏から下記の説明がありました。



太田教会委員長

①信徒の数が 증가しているにもかかわらず月定献金は年々減少傾向を続けている。台帳で調べた結果、月定献金を納めていない信徒が半分位いることが判明した。未納の方は金額の大小にかかわらず、ぜひ、納めてほしい。②支出で一番大きかったのは修繕費。鐘楼の十字架が落ち、復旧作業に約600万円出費したが火災保険で300万円回収できた。③みこころコーナーが完成したので、積立金から3000万円余り支出した。

また、2019年度予算について①建物・設備の劣化・老朽化に対応するための修繕費を増額した。②合葬墓建設費用は積立金から充当する、と述べました。

質疑応答では、図書室を会議室として利用しているときの対応について質問があり、今後、利用状況を事前に掲示することなどを検討することになりました。閉会では、典礼聖歌405番「ひとつになろう」が歌われ、山手教会共同体のさらなる発展を祈り散会しました。

なお、大会終了後に教会ホールで懇親会が行われ、大勢の信徒が参加しました。柏葉家庭会と行事担当の皆さま、おいしい料理をありがとうございました。



懇親会(鈴木真師による乾杯)

(編集部 土方芳人)